

## 狙いを定めて一投に力を込める 町長杯争奪親善輪投げ大会

2月17日、さゆり公園体育館で第28回町長杯親善輪投げ大会が3年ぶりに開かれ、参加した約200人の皆さんが高得点を目指し熱戦を繰り広げました。当日は各老人クラブから32チームが参加し、「ピラミッド」、「クロス」、「ミサイル」の3競技で合計得点を競いました。試合が始まると、選手の渾身の一投に対し時折歓声が上がると、会場が熱気に包まれました。試合は予選ブロックと決勝トーナメントによって行われ、尾登Bチームが見事に優勝を果たしました。大会結果は次のとおりです。(敬称略)

【団体】優勝=尾登B、準優勝=阿賀A、第3位=富久寿A、長寿A

【個人】最優秀賞=青木照夫(上原A)、優秀賞=渡部京子(黒沢)、五十嵐輝夫(下野尻A)



▲活動時間1000時間を達成し名誉会員章を受ける佐藤トミさん(写真右)

## 日頃の活動に感謝を込めて 西会津町ボランティア感謝祭

第17回ボランティア感謝祭が3月9日に開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった昨年度分と本年度の表彰を合わせて、18人の皆さんが受章しました。この表彰では活動時間数に応じた達成章が贈られます。中には、活動時間数が1000時間を達成した受章者もあり、ボランティア活動サポートセンターの荒海與志男会長が参加した皆さん一人一人に達成章を贈呈し、その功績をたたえました。【名誉会員章(1000時間)】=五十嵐智彦、佐藤トミ、荒海孝子、【金色達成章(500時間)】=1人、【銀色達成章(300時間)】=4人、【銅色達成章(100時間)】=10人



## 仲間たちとの絆を支えにそれぞれの道へ 西会津中学校 卒業証書授与式

3月13日、西会津中学校の卒業証書授与式が行われ、31人の生徒が新たな一步を踏み出しました。式では、佐藤崇史校長から卒業生が自分の手で漉いた出ヶ原和紙の卒業証書が、一人一人に授与されました。佐藤校長は「失敗を怖がらずに挑戦すること、言葉を大切に学び続けることを胸に、笑顔で力強い一步を踏み出していってください」と式辞を述べ、卒業生の皆さんの新たな門出を祝福しました。

在校生代表の大槻茉紘さんによる送辞の後、卒業生を代表して須藤柊さん(写真左下)が「これからはそれぞれの道に進んでいきますが、どんな困難にも立ち向かい、諦めず乗り越えていきましょう。皆で支え合い認め合うこの学年が大好きです」と力強く答辞を述べました。

今回の卒業式に花を添えた卒業生の胸元のコサージュは出ヶ原和紙でできており、卒業式前に地域の有志の皆さんから贈られたものです。

## 仲間と過ごした日々を支えに歩み出す 西会津高校 卒業証書授与式

西会津高校の卒業証書授与式が3月1日に行われ、5人の卒業生がたくさん思い出がつまった学びや旅立ちました。

式では、渡邊雅彦校長が卒業生一人一人に出ヶ原和紙でできた卒業証書を手渡し、「これからは自分で歩いていくことに臆することなく、果敢に決断し前に進むしかありません。10年20年後に皆さんが今とは見違えるように成長した姿を見せてくれると期待しています」と式辞を述べました。続いて、薄町長をはじめとする来賓が祝辞を述べ、卒業生の皆さんにはなむけの言葉を贈りました。

在校生代表送辞は大室樹麗さんが務め、式の最後には今井凜さん(写真右下)が「コロナ禍であっても私たちが有意義な日々を過ごせたのはたくさんの方々の支えがあったからです。これからはいつまでも笑顔を大切に、私たちらしく力強く歩み続けていきます」と卒業生を代表し答辞を述べました。

